

# 人物検索システム

「顔がわからなくても検索可能なシステム」

## 技術概要

顔情報が不明でも個人認証可能なカメラを用いたシステム。カメラで得られるカラー画像と距離情報をもとに、人物抽出と衣服特徴の抽出を実施。

### 特徴

- 顔情報よりも特徴領域が大きい衣服特徴を用いる。
- データベースに蓄積した人向きごとのデータを用い「衣服認識精度向上」をはかる。
- 人のカメラに対する向きを推定は「人の頭部」の状態（肌色の面積）のみで判定を実施
- 衣服の色と模様を特徴として抽出（模様なしの服は模様なし）

①まず入り口で登録

②どのお店で購入したか、衣服特徴から入口で登録したDBのデータから人物検索



## 想定用途

### 商業施設内での利用

商業施設内の人の衣服は様々な服を着用

#### ● 防犯（不審者）や見守り（迷子）

人物の追跡、特定が可能

#### ● マーケティング

①衣服の流行

②情報取得したいポイントで来客者の行動把握

→ 顔情報から年齢を推定  
店舗での購入情報  
どのように行動したか、  
動線把握



### 特許情報

出願名称 人物検索システム

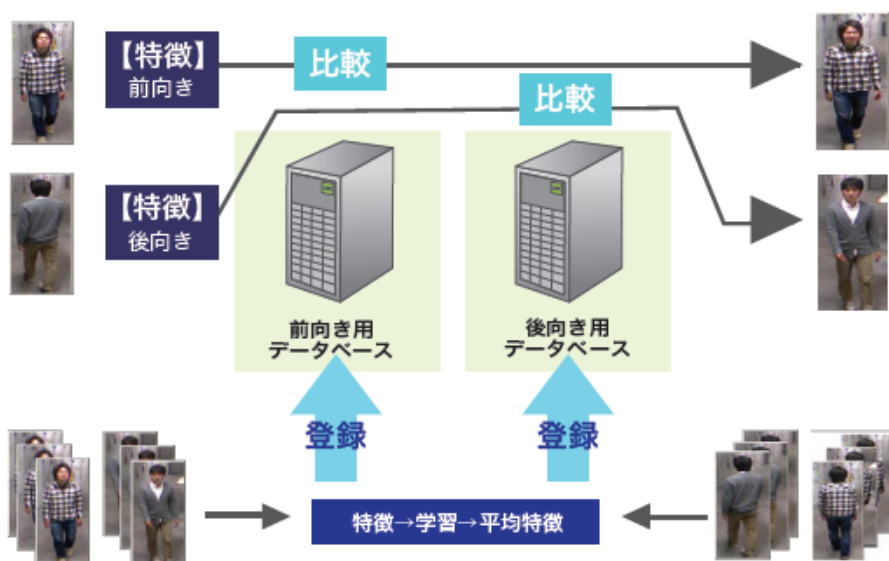
特願 2012-049300

発明者 | 未来科学部 中村 明生 ほか

## システム構成

### 人向きにより衣服特定に用いるデータベースを適宜変更

→ 人向きの変化による衣服の見え方の変化に対応



### 使用カメラ

Kinect™ (Microsoft 社製)  
カラー画像と距離画像を使用



## システムフロー

